

スポーツクリ



2023

No. 106

Winter

# Dance ダンス Dance ダンス Dance ダンス

世界ダンススポーツ連盟会長 ニューイヤーメッセージ

第42回三笠宮杯ダンススポーツ選手権

ねんりんピックかながわ2022

ダンススポーツグランプリ in 北海道2022



<http://www.jdsf.or.jp>



公益社団法人  
日本ダンススポーツ連盟  
Japan DanceSport Federation

# 2023年度 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 正会員選挙の実施に関する告示

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟 選挙管理委員会委員長 高橋 和代

2023年度公益社団法人日本ダンススポーツ連盟正会員選挙を実施しますので、正会員選出に関する規則第2条第3項及び第3条第3項に基づき、以下のとおり告示します。

(告示事項)

1 選挙する正会員の定数は、規則第5条第4項により下表のとおりとなります。

北海道	2	千葉	2	滋賀	2	愛媛	1	
青森	1	東京	5	京都	2	高知	1	
岩手	2	神奈川	4	大阪	2	山口	2	
宮城	2	新潟	2	兵庫	2	福岡	2	
秋田	1	長野	2	奈良	2	佐賀	1	
山形	2	富山	2	和歌山	2	長崎	1	
福島	2	石川	1	鳥取	1	熊本	2	
茨城	3	福井	1	島根	1	大分	1	
栃木	2	静岡	2	岡山	1	宮崎	1	
群馬	2	愛知	2	広島	2	鹿児島	2	
山梨	1	三重	2	香川	1	沖縄	2	
埼玉	2	岐阜	1	徳島	1	事務局	2	
							計	85

2 任期は、2023年6月1日から2025年5月31日までです。

3 正会員への立候補

- 1) 2023年1月1日現在で会員登録されている正会員、一般会員（ただし、当連盟役員は除く）は、正会員に立候補する権利を有するとともに、正会員を選挙する権利を有します。

2) 正会員には、当該加盟団体の会員を代表して総会に出席していただきますが、これに要する費用について、JDSFからの支給はありません。

3) 立候補する場合は、様式第2号により、2023年3月1日（水）から3月7日（火）17時（必着）までに、郵送、又は、FAXで届け出てください。

様式は、当連盟ホームページからダウンロードするか、当連盟事務局（電話03-6457-1850）にご請求ください。

届出先：〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2  
有明センタービル1階

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

選挙管理委員会

FAX：03-6457-1857

なお、立候補を辞退する場合は、2023年3月31日までに届け出てください（様式自由）。

4) 立候補者の掲示

立候補者名は、随時、当連盟ホームページに掲載します。

4 投票

立候補者数が定数を上回った場合は、投票を行います。投票方法は加盟団体により異なりますので、投票を行うことになった場合に、本部または加盟団体選挙管理委員会が当連盟ホームページ等により投票・開票日を告示します。

## 2027年世界最大級の生涯スポーツの国際総合競技大会 ワールドマスタースゲームズが 関西にやってくる！

ワールドマスタースゲームズの第1回目が開催されたのは1985年のこと。場所はカナダのトロントでした。その後、4年ごとにデンマーク、オーストラリア、アメリカなど各地で開催され、これまで延べ17万人のスポーツ愛好家が参加しています。

そんなワールドマスタースゲームズが2027年に、関西一円で開催されます。

競技やボランティアに参加して、世界中からやってくるスポーツ愛好家と一緒にワールドマスタースゲームズを盛り上げよう！！

だれでも参加できる世界最大級のスポーツの祭典

# ワールドマスタース ゲームズ2027関西



WORLD  
MASTERS  
GAMES  
2027 KANSAI  
JAPAN

JAPAN

2027年5月14日(土) ▶ 30日(日)

公益社団法人ワールドマスタースゲームズ2027関西組織委員会



# New Year's message

Dear Officials and members of JDSF,

As President of the World DanceSport Federation, I am delighted to extend my best wishes to you as we start a new year with more DanceSport activities and events.

The discipline of Breaking will enter into a most important phase with all the important qualifying events taking place in 2023. Some of these events will provide direct qualifications to Paris Olympic Games 2024 while others will qualify Breaking athletes to the 3 Olympic Qualifier Series which will take place in 1st half of 2024. Top JDSF Breakers will surely have an exciting year ahead to experience these qualifying events to the Olympic Games 2024.

In Feb 2023 Japan will host one of the 5 Breaking World Series in 2023. This is the 1st of the final 5 events of the "Breaking for Gold" World Series prior to the Olympic Games 2024. This event will be followed by a series of other qualifying events taking place in different continents paving the way to complete the worldwide Breaking Olympic qualifying events. My sincere wishes to the eligible Breakers in Japan to have their best performances and results.

We have seen increase in number of events for Standard and Latin disciplines and we now have more applicants for the WDSF World Championships for Standard and Latin as compare to the past 2 to 3 years. This is a clear sign that our athletes for these disciplines will have a more active year in 2023 with more events awaiting their participations.

WDSF very much look forward to Japan returning to play an active role in Standard and Latin dance disciplines in Asia, organising events such as the Grand Slam or other Standard and Latin Championships. I am certain that many Standard and Latin athletes look forward to visit your very beautiful country and to take part in these events.

My warmest wishes to all JDSF officials and members for a Happy & Prosperous New Year.

Shawn Tay  
WDSF President

JDSFの役員および会員の皆様へ

世界ダンススポーツ連盟の会長として、より多くのダンススポーツの活動やイベントが開催される新年の始まりによせて、皆様にご挨拶を申し上げます。

2023年に、ブレイキン部門は主要な予選大会が全て開催されるという最も重要な局面を迎えます。これらのイベントの中には、2024年のパリオリンピックの出場権を得るものと、2024年前半に開催される3つのオリンピック予選シリーズへの出場権を獲得できるものが含まれています。JDSFに所属するトップクラスのブレイカー(選手)は、2024年のオリンピックに向けて、これらの予選大会を経験するエキサイティングな1年を迎えることでしょう。

2023年2月には、日本が2024年のオリンピックの前哨戦ともいえる、5つのBreaking World Series「Breaking for Gold」のうちの最初の大会を、ホスト国として開催する予定です。この大会を皮切りに、様々な大陸で予選大会が開催されてブレイキンの全世界的なオリンピック選考会が開催されるのです。私は、日本のブレイカーが最高のパフォーマンスと結果を残すことを心から祈っています。

スタンダードとラテンのダンス部門は、過去2～3年と比較して大会数が増加しており、WDSF世界選手権大会への出場者が増加傾向にあります。このことは、2023年にスタンダードとラテンダンス部門のアスリーートの活動がさらに活発になり、大会への参加者が増えることを明確に示しています。

WDSFは、日本がアジアにおけるスタンダードとラテンダンス部門でも、グランドスラムやその他の選手権大会を開催し、積極的に重要な役割を果たすことを大いに期待しています。多くのスタンダードとラテンダンスの選手たちが、この美しい日本を訪れ、これらの大会に参加することを楽しみにしていると、確信しています。

JDSFの役員および会員の皆様にとって、新しい年が幸せで豊かな年となりますように心よりお祈り申し上げます。

WDSF会長 ショーン・テイ

(翻訳: JDSF国際本部長鶴崎清貴)

# 第42回 三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権

2022年11月19日(土)、20日(日) / 川崎市とどろきアリーナ

第42回を迎えた三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会と各併設競技会が、川崎市とどろきアリーナを会場として11月19日(土)と20日(日)の2日間にわたり開催されました。国内最高峰のダンススポーツ選手権としてつねに多くのダンススポーツ選手の目標となっている選手権大会は、1981年、故三笠宮崇仁親王殿下・百合子妃殿下ご臨席の第1回大会以来の歴史と伝統に培われ、多数の観客の皆さん、出場選手、運営役員・スタッフによって2022年も成功裏の実施となりました。

両日にわたった大会は、1日目に三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権スタンダード、同全日本PDダンススポーツ選手権、全日本シニアIダンススポーツ選手権ラテン、U-25オールジャパン・ダンススポーツカップスタンダード、JOCジュニアオリンピックカップ全日本ダンススポーツ選手権ジュニアスタンダード、毎日新聞社杯全日本ダンススポーツカップ選手権ジュブナイルスタンダード、2日目は三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権ラテン、同全日本PDダンススポーツ選手権スタンダード、全日本シニアIダンススポーツ選手権

スタンダード、U-25オールジャパン・ダンススポーツカップラテン、JOCジュニアオリンピックカップ全日本ダンススポーツ選手権ジュニアラテン、毎日新聞社杯全日本ダンススポーツカップ選手権ジュブナイルラテンのそれぞれ6競技が行われました。

各競技に熱戦を振るう選手たち、それを直接目にする観客の熱気に包まれた会場の様子は、今回3回目となったYouTubeでのライブ中継により、全国のダンスファンの元へも届けられました。また、観たい競技をindexで選べ大会終了後も視聴数を伸ばし続けるYouTubeに加え、当日、各種SNSを通じて配信された競技の様相にも数多くの反響が寄せられました。

初日の三笠宮杯スタンダードでは小嶋・盛田組が昨年の雪辱を果たして優勝杯を奪還、ラテンでは全種目を制した大西組が初優勝を遂げました。PD選手権スタンダードは圧巻の踊りをみせたオレクシー・太田組が7連覇、ラテンでは昨年に続いて山本・木嶋組がチャンピオンとなりました。(広報部長 佐藤 宣之)



JDSF旗を中心に選手/関係者が集ったグランドセレモニー



小野智史大会実行委員長による開会宣言



主催者を代表して挨拶を行う布村幸彦JDSF会長



祝辞を寄せられた永岡桂子文部科学大臣



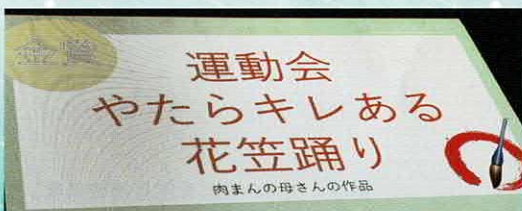
お祝いに駆け付けた福田紀彦川崎市長



## ダンスを楽しまれた来賓の方々



大林素子さんも参加したYouTube配信解説



あるある川柳も三笠宮杯の楽しみのひとつ。金賞受賞作



未来のジェントルマン!



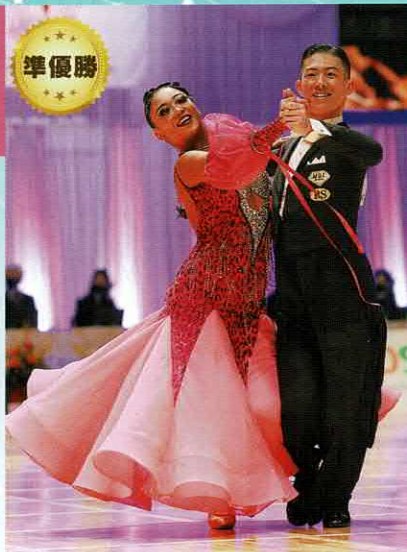
フロアサイドではワインのサービスも

三笠宮杯  
全日本ダンススポーツ選手権  
スタンダード



第3位

五月女光政・五月女淑佳組(栃木県)



準優勝

大西大晶・大西咲菜組(富山県)



優勝

小嶋みなと・盛田めぐみ組(神奈川県)



第6位

飯沼孟大・馬場えりな組(神奈川県)



第5位

守屋 駿・盛田舞香組(神奈川県)



第4位

Tudor Andrei・吉川あみ組(東京都)

たくさんの応援をいただきありがとうございました。昨年は2位という順位であったことで、改めて自分たちの踊りを見直す良い機会になりました。今は感謝の気持ちでいっぱいです。ライバルがいるからこそ自分たちも良いパフォーマンスができたので、これからも切磋琢磨して日本のダンス界全体のレベルを上げて、世界で活躍できるよう日本一丸となって頑張っていきたいと思います。

12月にイタリアの世界選手権に日本代表として行てきます。明日は別の団体の競技会もありますが、チャレンジャーとして頑張りたいと思います。



優勝

大西大晶・大西咲菜組(富山県)

自分たちの一番いい踊りを沢山の観客の皆さんに届けるという気持ちで踊ることができました。観客の皆さん、YouTubeをご覧になっている皆さん、スポンサーさん、そして夜遅くまで会場の準備をいただいた全ての皆さんに感謝いたします。このあとスタンダードとラテンの世界選手権に日本代表として出場する予定です。精一杯頑張ります。

三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権  
ラテン



準優勝

五月女光政・五月女淑佳組(栃木県)



第3位

海老原拳人・タカギルナ組(千葉県)



第4位

Tudor Andrei・吉川あみ組(東京都)



第5位

今西竜矢・今西心菜組(ブルボンDST)



第6位

ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実組(ブルボンDST)

スタンダード



優勝

アレクシー グザー・太田史圭子組  
(リズメディア)



準優勝

久保田弓椰・徳野夏海組  
(TEAM YUMIYA 北海道)



高橋一昌・高橋由紀子組  
(幸手K&Yダンスクラブ)



喜多田芳起・細田千代組  
(ザ・ゴールデンパレス大阪)



前田雅仁・宮崎 梢組  
(まえだダンス倶楽部)



西 恭平・西川真由組  
(LIBERADANCE)



Kevin・河岡宏美組  
(TDanceProduction)



Kevin・河岡宏美組  
(TDanceProduction)

三笠宮杯 全日本 PD ダンススポーツ選手権  
(毎日新聞社杯並杯)

優勝できてとても嬉しいです。今年はウクライナのごことで辛いこともありましたが、今日は皆さんのおかげで、楽しくこの大会で踊ることができました。この場をお借りして、皆さんのウクライナへの支援へのお礼ととても感謝している気持ちをお伝えしたいと思います。ありがとうございます。

皆さんありがとうございます。今日の日を迎えるまでにはいろいろな試練があり、優勝は皆さんのサポートをいただいた結果だと思います。私たちはJDSFの中で、PD部門を確立していく使命があると思ってこの舞台に立っています。私たちがこの舞台で踊り続けていることが、若い未来のあるダンサーたちのためになると思っています。私たちに4歳の子供がいますが、未来のチャンピオンになるためにダンスを始めています。ダンススポーツは素晴らしい。皆さん、どんどんダンス人口を増やして新たなチャンピオンを作りましょう。



第3位

山本武志・木嶋友美組  
(LIBERADANCE)



第4位

山岸圭太・石本美奈子組  
(エムズダンスアカデミー)

優勝



ラテン

山本武志・木嶋友美組  
(LIBERADANCE)



準優勝

久保田弓椰・徳野夏海組  
(TEAM YUMIYA 北海道)



第3位

岸田 肇・岡田祐子組  
(岸田ダンスアカデミー)

新屋秀和・滝川絵理組  
(シンヤダンススタジオ)

スタンダード

U-25 オールジャパン・ダンススポーツカップ



優勝

太田歩生・松本京佳組  
(北海道)

去年は準優勝で悔しい思いもありましたが、努力してきた結果が実ったのでとても嬉しいです。(太田) / 応援してくれる方々やサポートしてくれる方々のおかげでダンスを続けられて、今日は結果を出せて嬉しいです。(松本)

コーチの紹介でカップルを組んで5年になります。北海道と大阪で離れていますが、なんとか頑張って距離を克服して練習しています。来年は三笠宮杯の準決勝に残れるように、そして将来は久保田弓椰コーチのように日本一を目指したいです。



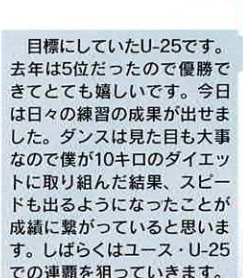
準優勝

木下将希・小西乙愛組  
(ブルボンDST)



準優勝

初村謙心・初村夏奈美組  
(ブルボンDST)



目標にしていたU-25です。去年は5位だったので優勝できてとても嬉しいです。今日は日々の練習の成果が出せました。ダンスは見た目も大事なので僕が10キロのダイエットに取り組んだ結果、スピードも出るようになったことが成績に繋がっていると思います。しばらくはユース・U-25での連覇を狙っていきます。三笠宮杯でも決勝常連組になり、いずれは世界も目指したいと思っています。



優勝

今西竜矢・今西心菜組  
(ブルボンDST)



第4位 中村エドワード・中村エリザベス永理組 (東京都)  
第5位 松浦龍騎・松浦優利華組 (宮城県) ホワイテ謙心・ホワイテ夏奈美組 (ブルボンDST)  
第6位 倉科 翼・府録明河組 (長野県)  
第7位 津田琥汰朗・津田マリア組 (大阪府)



第3位

太田佳輝・岡田愛彩組 (長野県)



第3位

太田佳輝・岡田愛彩組 (長野県)



第4位 原口侑弥・大西陽来里組 (富山県)  
第5位 太田歩生・松本京佳組 (北海道)  
第6位 梨木勝輝・垣中彩花組 (武蔵野美術大学)

スタンダード



- 第4位 石井恒吉・石井絃子組 (茨城県)
- 第5位 森晃士・森仁美組 (三重県)
- 第6位 FLORES MICHEL・桜井有樹子組 (東京都)



優勝  
小林潤一・小林麻衣組 (富山県)

全日本シニア | ダンススポーツ選手権



準優勝  
高杉耕一・高杉綾子組 (東京都)



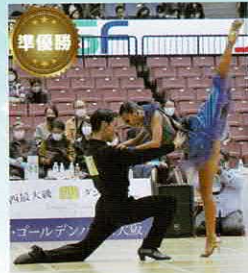
第3位

村瀬賢一・小笹詩織組 (埼玉県)

京都と北海道のシニア1代表選考会では、どちらも2位で悔しい思いをしていたのですが、昨日は第一代表に、今日は第二代表に勝つての優勝でとても嬉しいです。これまで中部地区で14年競技をやっていましたが、今年転勤で千葉県に転居しましたので、来年からは千葉県所属になります。海外ではブラックプールに出場したほか、2年前にWDSFのシニア1世界選手権に出場し最終予選までいきました。また海外の競技会にチャレンジしたいのですが、子供がまだ小さいのでそれ次第です。シニア1はラテンが盛り上がっているのので、スタンダードも盛り上げていきたいと思っています。



- 第4位 白井泰昭・井上 渚組 (神奈川県)
- 第5位 矢野貴大・小川真代組 (東京都)
- 第6位 三瓶友則・森川莉江組 (埼玉県)
- 第7位 片庭雄広・長田有里子組 (茨城県)



準優勝

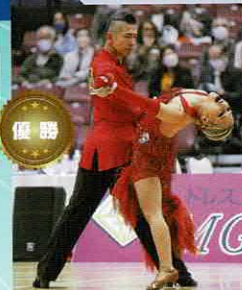
滝川博信・浅田舞組 (東京都)



第3位

野村亮・木内美奈組 (東京都)

ラテン



優勝

村瀬賢一・小笹詩織組 (埼玉県)

今日は調子も良かったし、狙っていた優勝なので嬉しいです。カップルを組んで10年以上になりますが、年齢的にようやくシニア1にエントリーできるようになり、今年はジャーマンオープンでシニア1ラテンで決勝に入ることができました。シニア1のWDSF世界選手権のファイナルに入る夢があるので、これからラテンもスタンダードも強化していきたいと思っています。

スタンダード



優勝

小林才時・前田佳音組 (ブルボンDST)

去年は7位だったので、今年は優勝できてとても嬉しいです。カップルを組んでまだ3年。来年からはユースになりますが、ユースでも優勝目指して頑張りたいと思います。目標はコーチでもあるオレクシー・更圭子組のような踊りです。

準優勝



藤枝大河・宮澤めぐ組 (埼玉県)



準優勝

小林才時・前田佳音組 (ブルボンDST)

2人が組んでまで4か月しか経っていないのですが、目標がこの大会で優勝することだったので、優勝できてとても嬉しいです。ラテンの方が好きですが、この大会が終わったらスタンダードの練習も始めます。来年は両方にチャレンジです。パートナーは千葉県なので練習は大変です。来年もこの大会で優勝したいのはもちろんですが、将来は海外の大会でも活躍できる選手になりたいと思っています。

ラテン



優勝

南山雄大・竹内杏奈組 (長野県)



- 第4位 足立拓海・佐藤叶望組 (千葉県)
- 第5位 岡内唯一・岡内暖羽組 (大阪府)
- 第6位 茂呂駿舞・今村朱里組 (群馬県)
- 第7位 原澤英大・竹之内梨音組 (山梨県)

吉岡栄太・宮脇寧音組 (東京都)



第3位



第3位

岡内唯一・岡内暖羽組 (大阪府)



- 第4位 藤枝大河・宮澤めぐ組 (埼玉県)
- 第5位 外村温仁・社本実由組 (神奈川県)
- 第6位 原澤英大・竹之内梨音組 (山梨県)

スタンダード



優勝

斉藤有音・柴田莉奈組 (千葉県)

昨年は準優勝でしたが、今年は練習の成果が出て優勝できて良かったです。今日は顔の位置とホールに気を付けて踊っていました。(斉藤) / 2年続けて優勝できて嬉しいです。今日はネックが折れないように気を付けていました。みやおかの先輩の三喜穂菜美選手が憧れます。(柴田) 2人でカップルを組んで1年です。来年からはジュニアになりますが、ジュニアでも活躍できる選手になりたい。2人ともこれからもダンスを続けていきダンスに関係する職業に就きたいです。

毎日新聞社杯 全日本ダンススポーツカップ選手権ジュブナイル



準優勝

足立拓海・吉村城音組 (千葉県)



準優勝

齊藤 功・土屋海音組 (東京都)

初めて出たのですが、一番望んでいたこの大会で1位をとれて本当に嬉しいです。スタンダードよりラテンが好きで、好きな選手は大西大晶・咲菜組です。将来は大きな大会で活躍できる選手になりたいです。



ラテン

優勝

福原聖太・朴美静組 (埼玉県)



- 第4位 見山遥都・柳麻希子組 (栃木県)
- 第5位 吉岡裕太・加藤向葵組 (千葉県)
- 第6位 藤枝修也・市島京音組 (埼玉県)

福原聖太・朴美静組 (埼玉県)



第3位



第3位

斉藤有音・柴田莉奈組 (千葉県)



- 第4位 見山遥都・柳麻希子組 (栃木県)
- 第5位 足立拓海・吉村城音組 (千葉県)
- 第6位 水田悠斗・大塚千榮組 (京都府)
- 第7位 鈴木海璃・戸上陽華組 (神奈川県)
- 第8位 吉岡裕太・加藤向葵組 (千葉県)

# 我が国のトップアスリート 小嶋みなと・盛田めぐみ組



国内最高峰の三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権で、2016年初優勝から2020年まで5連覇、2021年の三笠宮杯では惜しくも準優勝でしたが、翌2022年見事前回の雪辱を果たし6回目の優勝。2010年第16回アジア競技大会（中国・広州）には、18歳と17歳の若さでJOC（日本オリンピック委員会）日本代表として石原正幸・久保斐美組、正谷恒樹・齋藤愛組、鈴木佑哉・鈴木加奈組、久保田弓椰・久保田蘭羅組などと共に出場、タンゴで見事に銅メダルを獲得、注目されました。今後、世界を舞台に活躍が期待される我が国のトップアスリートです。  
(JDSF広報部相談役 神宮周二)



Q：三笠宮杯優勝おめでとうございます！

小嶋組：大変嬉しく思っております！ 周りの方々や会場にいらして下さった皆さまからはもちろん、ネットを通してたくさんのの方々から応援をいただき、とても力になりました。ありがとうございました！

Q：月刊「ダンスビュー」2023年2月号の表紙を飾り、ダンスファンのみならず本屋さんの店頭でも注目を集めました。2019年2月号に続き2回目ですね。

小嶋組：今まで凄い選手が表紙を飾っていた「月刊ダンスビュー」にまさか自分が表紙になるとは！ 凄く光栄です。最初は思わずドッキリかなと（笑）。家族や友人達にも喜んで頂



けたので本当に嬉しかったです。同時に、益々精進に励みたいと思いました。

Q：ダンスを始めたきっかけは？カップル結成の経緯も教えてください。

小嶋組：私たちはヒルズ学園という同じ幼稚園出身で、毎年卒園式の際にワルツの簡単なステップを踊ります。それが楽しかったのがきっかけです。その幼稚園の園長先生が今のコーチの坂本先生でした。今でもずっと同じく坂本先生に習い続けています。小学生の頃は学校が終わるとヒルズ幼稚園に行き、卒園生の子たちと一緒にトレーニングやダンスの練習をする日々でした。同年代の子がたくさんいたので特に固定カップルではなく、ジュブナイルの頃は毎試合違う子と組んで大会に出場していました。現在（公財）JBDFで活躍している景山雄紀さんや川島知也さんはじめ、沢山の先輩方が一緒に遊んでくれたりステップを教えてくれたりと、とても楽しかった記憶があります。ジュニアの試合に出場するタイミングで固定カップルを決めることになり、それぞれが組みたい人を自分で希望を出し、カップルの結成になりました。



Q：最初に出場した競技会のことは覚えていますか？

小嶋組：あまり覚えていませんが、最初の頃は試合のことより試合会場に落ちているスパンコールを拾うのに必死だったと思います（笑）。あとトロフィーやメダルをもらえるのがすごく嬉しかったのと、それを家の階段に並べて飾っていたのを覚えています。

Q：小嶋さんは地球環境に貢献する会社（株）セラビ（SELA VE）の社員としてダンス競技の活躍が会社のホームページにも掲載され、会社の皆さんからも注目を浴びていますね。

小嶋組：会社の方々には皆さん良い方々ばかりなのでいつも応援してくれて、会場にも応援に来てくれます。遠征の際などは、私の仕事の対応を引き受けてくれたり、感謝しかないです。

盛田組：私も会社勤めをしていますが、いつも皆さんに応援していただいています。遠征などの際に休んだりすることもあります。一部の業務を快く請け負ってくださったりもしています。また、実際に会場へ応援に来て下さったり、近年の





大会のようにネット配信があると見て応援してくださいませ。感謝の気持ちで一杯です！

**Q：スタンダードの競技選手としては比較的小柄ですが、フロアで目立つために心掛けていることはありますか？**

**小嶋組：**身長が高い方が見栄えも良いスタンダードを踊る上で本当に有利だと思います。ただ、身長が低い方が有利な点も沢山あります。個性の一つだと思ってむしろ「身長が低いからこそ出来る自分たちだけの踊りを作りあげていければ」と思っています。さらに競技会では、「まずは楽しむ事を第一に考えています！」自分たちが楽しめない音楽表現も上手く出来ないし、観客を楽しませる余裕も無くなってしまうので、「自分たちは全力で楽しもう」と思っています。

**Q：ジュニアからユース時代の競技会の思い出は？**

**小嶋組：**2006・2007年（第26・27回）三笠宮杯JOCジュニアオリンピックカップスタンダード2連覇、JOCジュニアオリンピック有望選手にも選ばれました。同世代の選手と切磋琢磨して毎試合とても楽しかった記憶があります。私は現在PDで活躍の久保田弓椰選手と同年齢なので、常に上を目指し続けるライバルがいてとても幸せでした。

2008年（第3回）オールジャパンジュニアのユース部門スタンダードでは久保田組に次ぐ準優勝、ラテンも第5位と頑張りました。2009年は17歳と16歳で第29回三笠宮杯スタンダード部門で石原正幸・久保斐美組に次ぐ準優勝し、トップ選手の仲間入りが出来たと実感しました。そして翌2010年（第16回）アジア競技大会日本代表に選ばれたことが心に残っています。



第3回オールジャパンジュニア（東京）ラテン第5位

**Q：多忙な日々だと思いますが、どのような生活を送っていますか？**

**小嶋：**練習は現在週6でカップル練習。月・火は踊り込み、水はDTC（JDSFダンススポーツトレーニングセンター）でPトレ（Physical Training）、木・土・日は坂本先生のフロ

アで自分たちの踊りを映像で確認しつつ細かい打合わせや技術的な練習をしています。練習休みの金曜日は仕事が終わった後、パーソナルトレーニングや身体のケア、シャドー練習、英会話などに時間を使っていることが多いです。ジムは週6で行っており、曜日によって部位ごとにわけてトレーニングをしています。趣味は毎日8キロのランニングが日課です。一般的な平日は、朝7時から英会話、8時半～17時半まで会社勤務、その後18時頃からストレッチ・トレーニング、19時～22時までカップルで練習、23時半からジムでトレーニングをして身体のケア、午前2時に帰宅。風呂と洗濯をしてそれから就寝が基本的なスケジュールです。

**盛田：**土日や年末年始などは父と母が経営する花屋さんのお手伝いをしたり、祖母と散歩することもあります。その他ダンスと仕事以外の活動は時間も無いため特にありませんが、今後はダンスを広める活動にも力を入れていけたらと考えています。

**Q：ライバルや尊敬するコーチを教えてください。**

**小嶋組：**尊敬するコーチは坂本先生です。小さい頃から熱心にご指導頂いたおかげで今の自分たちがいます。とても研究熱心でいつも色々な視点から分かりやすくレッスンをして頂けるので、もし自分がコーチになる時は参考にしたいと思っています。ライバルは自分自身で、常に昨日の自分を超えられるように頑張っていきたいと思っています。



いつも寄り添ってくれる坂本先生ご夫妻



三笠宮杯決勝キス&クライで坂本幸児・信子先生ご夫妻と

## 〈主な戦歴〉

### 国内

- ・三笠宮杯 2016～2020年&2022年優勝
- ・バルカーカップ 2022スタンダード優勝

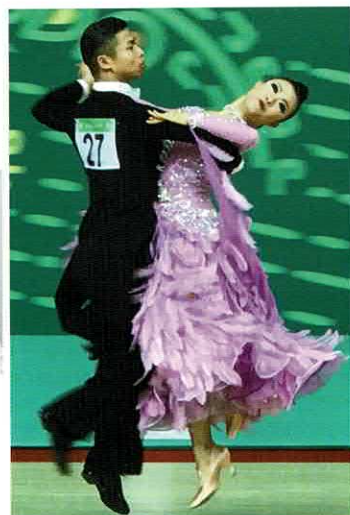
### 海外（日本オリンピック委員会（JOC）派遣日本代表）

- ・2010年 第16回アジア競技大会（中国・広州）タンゴ銅メダル。
- ・2013年 第6回東アジア競技大会（中国・天津）5種目総合銀メダル、ワルツ銅メダル
- ・2017年 第5回アジアインドア・マーシャルアーツ競技会（トルクメニスタン・アシガバード）クイックステップ銀メダル



### 国際競技会

- ・2017年 WDSF アジアシングルダンス（中国）タンゴ準優勝・クイックステップ優勝
- ・2017年 WDSF ワールドオープン（豪州・メルボルン）準優勝
- ・2019年 アジアダンススポーツゲームズ（高崎）ヴェニーズワルツ優勝・クイックステップ優勝 など



# 2022年度ランキング競技結果・ 2023年度JDSF競技会について



競技部長 星野 晴信

2022年5月より競技部長に就任しました星野晴信です。

例年のように、2022年度のJDSFランキング競技会の結果、2023年度 JDSF競技会予定及び2023年版競技関連規程集の主な改訂点についてご報告いたします。

- 1) 2022年度JDSFランキング競技の結果(別表)
- 2) 2023年度JDSFメイン競技会及びJDSF主催競技会予定

## JDSFメイン競技会 La:ラテンのみ St:スタンダードのみ

4/9	ダンススポーツグランプリin大分 [べっぷアリーナ]	La
4/16	ダンススポーツグランプリin京都 [西宇治体育館]	St (PDグランプリLa併催)
7/9	ダンススポーツグランプリin富山 [富山市総合体育館]	St
7/16	ダンススポーツグランプリin静岡 [グランシップ]	La
9/10	ダンススポーツグランプリin仙台 [青葉体育館]	La (PDグランプリSt併催)
10/01	ダンススポーツグランプリin北海道 [きたえーる]	St (PDグランプリLa併催)
10/21,22	三笠宮杯全日本ダンススポーツ選手権大会 [東京体育館]	
5/14	Asian World Dance Festival [大阪:千里阪急ホテル]	
6/18	JDSF PD Japan Dance Trophy [福岡:宗像ユリックス]	

## その他JDSF主催競技会等

1/8	全日本シニア10ダンス選手権 [京都:伏見港公園体育館]	全日本選手権ジュニア10ダンス併催
2/26	全日本選手権ユース10ダンス [京都:伏見港公園体育館]	
8/27	全日本 PD10ダンス選手権 [福岡:宗像ユリックス]	
6/4	全日本10ダンス選手権 [会場は未定]	
7/29,30	第18回オールジャパン・ジュニアダンススポーツカップ [高崎アリーナ]	
7/30	日本スポーツマスターズ 2023福井大会記念事業 DS競技大会 [福井市体育館]	
10/29	ねりんピックえひめ 2023 [愛媛:今治市営中央体育館]	

その他を含め右記を参照ください ⇒<https://www.jdsf.or.jp/competition/tendance-main/games/>

## ※2023年国際派遣選考競技会

2023年度国際派遣選考競技会は部門別に以下のURLを参照ください。

HakenSenkou\_2023-2025.pdf (jdsf.or.jp)

2023年度国際派遣選考競技会は、部門別に下記の一覧表となりました。

代表派遣を目指す選手の皆様は良くご覧になり、予定を立て奮ってご参加ください。

なお、2023年のジュニアSt、Laの選考は、グランプリin京都のジュニア区分、オールジャパンジュニアダンススポーツカップ、三笠宮杯全日本選手権ジュニア区分の3大会のポイントにより選ばれることとなっています。

また、2023年のユースSt代表選考はグランプリin静岡、La代表選考はグランプリin富山の全日本選手権ユース、オールジャパンジュニアダンススポーツカップ、グランプリin仙台のユース区分の3大会のポイントにより選考とすることになりました。

以上のことをしっかりとご確認の上で、JDSF競技会にふるって参加して頂き、JDSF競技会がなお一層活性化されますことを願っております。

2023年	大分 (べっぷアリーナ) 4月9日	京都 (西宇治体育館) 4月16日	富山 (富山市総合体育館) 7月9日	静岡 (グランシップ) 7月16日	オールジャパンジュニア (高崎アリーナ) 7月29日・30日	仙台 (青葉体育館) 9月10日	北海道 (北海きたえーる) 10月1日	三笠宮杯 (東京体育館) 10月21日・22日
グランプリスタンダード		○	○				○	○
グランプリラテン	○			○		○		○
シニアIスタンダード	○					○		
シニアIラテン		○					○	
ユーススタンダード				○	○	○		
ユースラテン			○		○	○		
ジュニアIIスタンダード		○			○			○
ジュニアIIラテン		○			○			○

注. 世界ユース選手権/ジュニア選手権(スタンダード・ラテン)への派遣選考は、代表派遣をする世界選手権開催日3か月前を起点とした3大会のポイント結果により選考。

2023年度世界ジュニア10ダンス選手権の派遣選考会は、2023年1月8日 京都:京都府伏見港公園体育館で開催。

2023年度世界ユース10ダンス選手権の派遣選考会は、2023年2月26日 京都:京都府伏見港公園体育館で開催。

2023年度世界10ダンス選手権の派遣選考会は、2023年6月4日(会場未定)で開催。

世界シニア10ダンス選手権への派遣選考会は、2023年1月8日 京都:京都府伏見港公園体育館で開催。

2023年度世界シニアIIの派遣選考会は、2023年4月2日(日) ダンススポーツフェスティバルin東京(駒沢体育館)で開催。

世界シニアIIIの派遣選考会は、2023年7月30日(日) 日本スポーツマスターズ2023福井大会記念事業DS競技大会[福井市体育館]で開催。

世界シニアIVの派遣選考会は、2023年9月3日(日) 西部ブロック選手権[三井ららぽーと堺]で開催。

### 3) 競技関連規程集について

競技会主催者、競技役員用の競技関連規程全てを掲載した「2023年版JDSF競技関連規程集」を12月に発行致しました。チェアパーソン（競技長）はじめ競技会を運営される方はよくお読みになり、競技会開催時には是非お手元において、お役立て下さい。

これまで登録選手の皆様に配布されていた「選手用競技関連規程集」は2016年より廃止となりました。

#### 2023年 競技関連規程集の主な改訂ポイントと解説

- (P3) 第15条の2：該当級エントリー組数の明確化  
一般級別戦のA～D級戦と明確にした。
- (P3) 第16条：時間表記の統一、いくつかの種目の演奏時間を別項に改訂  
第1項の60秒表記を、分表記に訂正した。  
第2項に、前項の規程に拘らずヴィエニーズワルツとパンドブレ、ジャイヴは1分以上と明確にした。
- (P3) 第17条：曖昧な表現の文章を、明確な文章に訂正した。
- (P5) 第30条：P16のガイドライン5の③に記載していた「予選でのアップ数」の文言を移した。
- (P5) 第35条の1：同点が出た場合の決定戦に10ダンスを追加した。
- (P6) 第40条の2：3日前に訂正した。  
選手証がデジタル選手証になった場合、日々選手データベースが更新可能となるため。
- (P6) 第46条：2023年1月から使用の標準様式A（A4横）とJDSFオンラインエントリーに訂正した。
- (P7) 文言解釈と重要表現の9：出場組数をカップルでフロアに立つ予定の組

- 数に訂正した。  
10：「選手受付」について明記した。
- (P10) 公認級別競技 昇降級規程 第2条：「年、年間」に訂正した。  
第3条及び第6条の条文中「年度、翌年度」表記も、「年、翌年」に訂正した。
- (P10) 付則：代表選手派遣選考会について、年齢条件及び昇降級に関することを追記した。
- (P11) 別表1-2（シニア系競技）の注2：シニア競技に出場する資格要件を明確にした。
- (P13) 競技規則 細則 第5条：条文をより明確にした。
- (P13) 審判員判定の没収の処置：没収の措置の適用範囲について明確にした。
- (P14) 競技会に関する内規 第2条の5：1）、2）の本部提出は不要。  
第4条の4：事務手数料を含む資格回復申請料と資格回復申請に訂正した。
- (P15) 昇降級基準に関する内規（別表1～4）：表の記載場所を第1条の4の下に移した。
- (P16) 競技会主催者へのガイドライン：予算計上に関することを追記した。
- (P21) 服装規程：女性役のアンダーウェアの色について追記した。
- (P24) ジュブナイル、ジュニア：ソックス又はタイツを着用することとした。
- (P49、50) 公認審判員規程 第7条、第11条：登録年度内と明確にした。
- (P62) 登録管理規程 第10条、第11条：デジタル会員証（デジタル選手登録認定証）について追記した。
- (P73) シラバス作成基準：現状に合わせ一部変更した。

その他 下線は改訂重要部分のみとし、その他、文言や数字等の加除訂正、配列の訂正、変更などをした。

## 2022年度全日本ダンススポーツランキング競技の順位結果

### 全日本ダンススポーツランキング

#### ●スタンダード

1位	小嶋みなと・盛田めぐみ	神奈川県
2位	大西 大晶・大西 咲菜	富山県
3位	五月女光政・五月女淑佳	栃木県
4位	Tudor Andrei・吉川 あみ	東京都
4位	藤森 春樹・金山 咲月	東京都
6位	守屋 駿・盛田 舞香	神奈川県
7位	熊谷 光晃・粕尾明日香	東京都
8位	飯沼 孟大・馬場えりな	神奈川県
9位	海老原竜太・須田 美咲	千葉県
10位	佐藤 祐馬・久保田理沙	東京都
10位	木下 将希・小西 乙愛	ブルボンDST

#### ●ラテン

1位	大西 大晶・大西 咲菜	富山県
1位	藤井 創太・中村 安里	千葉県
3位	五月女光政・五月女淑佳	栃木県
3位	海老原拳人・タカギルナ	千葉県
5位	Tudor Andrei・吉川 あみ	東京都
6位	今西 竜矢・今西 心菜	ブルボンDST
6位	高橋 海・鈴木 柚葉	千葉県
8位	押川 慧悟・和田 知世	神奈川県
9位	大木 大樹・大木 風香	北海道
10位	町田 篤人・山崎 笑夢	埼玉県
10位	山本 壮真・三喜真梨菜	ブルボンDST

### ユースランキング

#### ●スタンダード

1位	木下 将希・小西 乙愛	ブルボンDST
2位	中村工ワド瀧・中村工ワド理	ユースアスリートクラブ
2位	ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実	ブルボンDST
4位	山本 壮真・三喜真梨菜	ブルボンDST
5位	北島 蓮・榮岩茉莉那	ユースアスリートクラブ
6位	原口 侑弥・大西陽来里	富山県
6位	山下 遥聖・山下実彩妃	愛知県

#### ●ラテン

1位	今西 竜矢・今西 心菜	ブルボンDST
1位	高橋 海・鈴木 柚葉	千葉県
3位	山本 壮真・三喜真梨菜	ブルボンDST
3位	ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実	ブルボンDST
5位	原口 侑弥・大西陽来里	富山県
6位	山下 遥聖・山下実彩妃	愛知県

### PD全日本ポイントランキング

#### ●スタンダード

1位	グザール・オクシー・太田吏圭子	リズムメディア
2位	久保田弓椰・徳野 夏海	TEAM YUMIYA 北海道
3位	山本 武志・木嶋 友美	LIBERA DANCE
4位	山崎 圭太・石本美奈子	エムズダンスアカデミー
5位	高橋 一昌・高橋由紀子	幸手K&Yダンスクラブ
6位	前田 雅仁・宮崎 梢	まえたダンス倶楽部
7位	秋谷 孝宏・原田 美穂	エムズダンスアカデミー
8位	水島 寛・水島愛紅美	ミズシマダンスカンパニー
9位	壺内 康文・壺内 美和	スターロードダンスセンター
10位	見元 克至・北畑 香織	アサノダンススクール

#### ●ラテン

1位	久保田弓椰・徳野 夏海	TEAM YUMIYA 北海道
2位	Kevin・河岡 宏美	T-Dance Production
3位	新屋 秀和・滝川 絵理	シンヤ ダンススタジオ
4位	高島 大知・田村奈緒子	TAICHI DANCE LUCE
5位	西 恭平・西川 真由	LIBERA DANCE
6位	高辻 博希・岡田 優美	タカツヅ・ダンス・スタジオ
7位	山本 武志・木嶋 友美	LIBERA DANCE
8位	藤見 昭次・藤見 美子	福島県
9位	岸田 肇・岡田 祐子	岸田ダンスアカデミー
10位	中根 大幾・大野 眞有	Hidemi Dancing Vida

### ジュニアランキング

#### ●スタンダード

1位	小林 才時・前田 佳音	ブルボンDST
2位	足立 拓海・佐藤 叶望	千葉県
2位	藤枝 大河・宮澤 めぐ	埼玉県
4位	茂呂 駿舞・今村 朱里	ジュニアアスリートクラブ
5位	原澤 英大・竹之内梨音	山梨県
5位	江田 煌也・細田 琉永	島根県
5位	小宮 康平・渡辺 華凜	神奈川県

#### ●ラテン

1位	岡内 唯一・岡内 暖羽	大阪府
1位	小林 才時・前田 佳音	ブルボンDST
1位	南山 雄大・竹内 杏奈	千葉県
4位	藤枝 大河・宮澤 めぐ	埼玉県
4位	外村 温仁・社本 実由	神奈川県
6位	足立 拓海・黒嶋ひなの	千葉県

詳細はJDSFのホームページの競技会 スタンダード、ラテン ランキングをご参照ください。



2022  
ねんりんピック  
かながわ



第34回 全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模原大会

# ねんりんピックかながわ2022

神奈川に 咲かせ長寿の いい笑顔 未病改善でスマイル100歳

## ダンススポーツ交流大会

11月13日(日) / 川崎市スポーツ・文化総合体育館(カルッツかわさき)

主催：厚生労働省・神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・長寿社会開発センター 共催：スポーツ庁

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の高齢者を中心とするスポーツや文化種目の交流大会をはじめ、健康や福祉に関する多彩なイベントを通じ、健康保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与するため、昭和63年(1988)年から各県持ち回りで毎年開催されています。コロナの影響で2020年岐阜大会は中止、そして2021年神奈川大会は2022年に延期されての開催となりました。

川崎市は市制施行から98年経過、5万人から154万人の大都市として発展を遂げ、非都道府県庁所在地の市では最大、財政も豊かな都市、そしてストリート文化や若者文化が盛んな街として知られています。全国の60歳以上の人口4048万人を代表するダンススポーツ選手が、北は岩手県・秋田県から南は鹿児島県・沖縄県まで36と府県、仙台市から熊本市まで14政令都市の50チーム、合計200組を超える選手が競い、交流を深めました。



### 特別表彰

賞状、記念品の盾、副賞として川崎市ふるさと納税返礼品の明治大学農学部と共同開発の熟成肉が贈られました。

#### 最高齢者賞

- 男性 阪田ゆたか (90歳)
- 女性 阪田きよこ (87歳)
- ご夫妻 (東京都)



#### 高齢者賞

- 男性 平塚智一 (88歳・埼玉県) 石橋 弘 (88歳・広島市) 矢野政明 (85歳・山口県)
- 女性 石橋サワ子 (85歳・広島市) 村田悦子 (81歳・福岡市) 平塚英子 (80歳・埼玉県)



「コロナ禍にあって、無事開催でき関係者一同、ホッとしています」閉会式では、「いい思い出を!! 疲れとゴミは残さずに! お帰り下さい!」

思いを込めて、練習の成果を発揮し、楽しんで頂きたい。選手の健闘を祈ります

ダンススポーツは、アンチエイジング年齢を超えて楽しめるスポーツ。2028年長野国体より公開競技に決まりました



右から、布村幸彦JDSF会長、伊藤弘川崎市副市長、小坂橋聡士神奈川県副知事、小野智史実行委員長



選手一同、若々しく踊ることを誓います!

選手宣誓 村上厚・藤目与里組 (川崎市)



ねんりんピックは世代を超えて誰もが交流や絆を深めることが出来る大会。川崎市の魅力に触れ、是非、再び川崎市を訪れて頂きたい

福田紀彦川崎市長



東京都体育協会 視察団(中嶋正宏理事長他3名)と後列左から小野実行委員長、居樹東京都DS連盟名誉会長、神宮JDSF広報部相談役



観客席 コロナ禍で観客は200名限定となりましたが、午前中には客席は満杯となりました。



司会進行は、山口剛競技本部長と渡辺祐美マネジメント部長

### アトラクション



大島橋太鼓：東日本大震災の時の人と人との心のふれあいをテーマとした「絆」を演奏



優勝 茨城県ダンススポーツ (茨城県)



準優勝 富士山チーム (静岡県)



第3位 チーム神奈川A (神奈川県)



第4位 川崎市Aチーム (神奈川県)

第5位 川崎市Bチーム (神奈川県)

地元川崎市からは2チームが出場し大健闘！伊藤弘副市長(中央)もご満悦



岩手県チーム



鳥根県チーム



鹿児島県チーム

## ねんりんピック個人戦



ワルツ・タンゴ 優勝  
岡田 浩・岡田素子 組(熊本市)



ワルツ・タンゴ 準優勝  
堤憲治郎・堤 薫 組(福岡県)



ワルツ・タンゴ 第3位  
山下和男・山下千佳子 組  
(岩手県)



チャチャチャ 準優勝  
塚田賢司・三沢育子 組(川崎市)



ルンバ・チャチャチャ 優勝  
初見 甚・初見智恵子 組(茨城県)



おもてなし  
コーナー



## 模範演武 (特別デモンストレーション)



小嶋みなと・盛田めぐみ組



藤井創太・中村安里組



ルンバ 準優勝  
常富篤美・常富法子 組(名古屋)



ルンバ・チャチャチャ 第3位  
小池越路・笹口由香利 組  
(新潟市)

来年は、愛媛県今治市  
市営中央体育館において開催されます。  
皆様の参加をお待ちしています。



越智米明愛媛県  
ダンススポーツ連盟会長

# マイナビ JDSF ブレイキン ジャパン オープン 2022

2022年11月19日(土)、IHIステージアラウンド東京 / IHIステージアラウンド東京

JDSFブレイクダンス本部選手強化部長 **渡邊 将広**  
(マーロック)



「マイナビ JDSF ブレイキン ジャパン オープン 2022」が開催された。ジュニアカテゴリー (B-BOY・B-GIRL)・オープンカテゴリー (B-BOY・B-GIRL) の計4部門にて行われ、100名を超えるB-BOY・B-GIRLが世界各国から日本に集結した。

この大会は2022年度からスタートした大会であり、来年2月に開催予定の「第4回JDSF全日本ブレイキン選手権」への出場権を争うポイント付与が最大の大会になっている。また、世界ランキングポイントも付与される「BREAKING FOR GOLD CHALLENGE SERIES」としても開催され、WDSFに選手登録している世界中のB-BOY・B-GIRLが参加可能となった。

## ジュニアカテゴリー

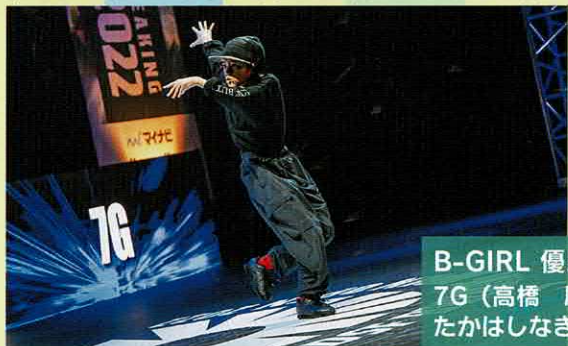
### B-BOY Wato (ワト) と

B-GRIL 7G (ナギ) が優勝に輝いた。



**B-BOY 優勝**  
Wato (倉井湧都  
くらいわた:日本)

B-BOY部門ではWato vs Hajimeの決勝戦。両者ともに高いスキルを持ちながらも、自らのスタイルを前面に押し出し決勝戦を戦った。優勝したWatoは、すでに国内外でも多くの結果を残し注目度も高い中、貫録のパフォーマンスで勝利を勝ち取った。彼の得意とするパワームーブの精度とスピード感は大人と比べても間違いなくトップクラスであった。Watoは今年の1月に開催された「第3回全日本ブレイキン選手権」ではジュニアカテゴリーで優勝している。今大会で弾みをつけ、全日本選手権の連覇にも大きく期待がかかる。



**B-GIRL 優勝**  
7G (高橋 凪  
たかはしなぎ:日本)

B-GIRL部門は7G vs Noaの組み合わせ。両者は今年7月に行われた「JDSF BREAKING中部北陸ブロック 2022」のジュニアB-GIRLカテゴリー決勝にて対戦し、Noaが勝利してい

その会場は、2017年東京都江東区豊洲に、アジアで初、世界でもオランダ・アムステルダムに次ぎ2番目に開設された回転型劇場で、劇場中央には、1300人以上の観客を乗せて360度回転する円形の客席を設置。舞台とスクリーンがその周囲を取り囲み、座席全体が回転する“体感型劇場”と言われ、まさに、ブレイキンには相応しい会場。

既に日本ではお馴染みのB-BOY Shigekixをはじめ、先日Red Bull BC One World Finalにて好成績を残したB-BOY IssinやB-BOY Yu-Ki、国内外で多くの実績を誇るB-BOY NoriやB-GIRL Ayumiが参戦。海外からはB-GIRL Logistix (アメリカ)、B-BOY Vero (韓国)などの強豪も参戦し、大いに盛り上がりを見せた。

再戦となったこのバトルでは、多彩なステップなどで音を取りダンス力の高さを感じさせるNoaに対して、体の柔軟性を活かしたムーブで終始スタイルを貫いた7Gが勝利した。

## オープンカテゴリー

### B-GIRLリトアニアのNicikaが初代女王に!



**B-GIRL 優勝**  
Nicika (リトアニア)



**B-GIRL 準優勝**  
Logistix (アメリカ)

女子の決勝戦はNicka (リトアニア) vs Logistix (アメリカ) の対決となった。両者は国際大会でも多くの実績を誇り、世界では名の知れたトッププレイヤーである。

Logistixは先日ニューヨークで開催されたRed Bull BC One World Finalでも準優勝し、常に世界のトップ戦線走るB-GIRLだ。しなやかで流れるようなフロー、そしてスピード感あるパワームーブも持ち合わせ、先攻からハイレベルなムーブを展開。

Nickaも幅広いレパートリーのステップで音を取り対抗していく。なめらかなフットワークや、ウィンドミルからチェアグライドのコンビネーションなどハイレベルなパワームーブも決め、世界のレベルの高さを感じさせた。

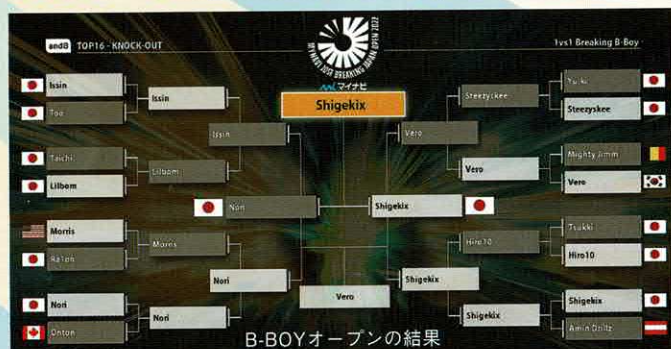
結果はNickaに軍配があがり、見事初代女王に輝いた。Nickaは「優勝できてとても嬉しい。私は初めて日本に来ましたが素晴らしい日本の方々や、コンペティションに参加できて良かったです。今日はとても最高の日です。」と優勝した感想を語った。尚、日本のAyumiはAyaneとの3位決定戦を戦い勝利し3位で表彰台に登った。

のNoriは洗練されたシルエットと、衰えを感じさせないパワームーブで完璧なムーブを披露して勢いにのった。

後攻のShigekixもキレのあるパワームーブやフリーズから流れるようなコンビネーションでスキル幅の広さを常に見せつける。単発の動きだけではなく、音楽の小節の変わり目ではしっかりとインパクトのあるムーブを入れ込み、高いレベルのミュージカリティも披露した。

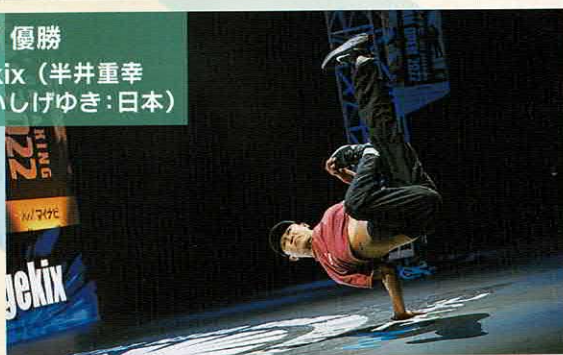
3ラウンドに渡る激戦の結果は2:1の票差で、Shigekixが優勝を手にした。「世界選手権から一か月後の大会で自分が納得できるほどの調整ができるか葛藤はあったのですが、今までやってきたことを出せるかにフォーカスしていました。まだまだ課題はありますが、やってきたことが踊りに出ている感覚はあったのでいい経験になりました。Noriさんとは何度もバトルしているのですが、自分がプレイキンを始めた時から憧れのB-BOYだったので今日も熱い気持ちで挑ませてもらいました。」とのコメントを残した。

## B-BOY ShigekixがNoriを倒し大会初優勝!



表彰式

**B-BOY 優勝**  
Shigekix (半井重幸  
なからいしげゆき:日本)



**B-BOY 準優勝**  
Nori (菊地教総  
きくちのりとし:日本)



決勝戦はShigekixとNoriの日本人対決となった。Noriは準決勝でBodyCarnivalのB-BOY Issinを倒し、Shigekixは韓国のB-BOY Veroとのバトルを制し決勝に進んだ。

この2人は過去様々なバトルで何度も直接対戦し、再びこの大舞台で相まみえることとなった。1ラウンド目から先攻

今回は日本開催の大会で多くの海外選手が参戦し、見どころが多くあった大会であった。海外勢の身体能力の高さや、音に対してのフローやムーブの組み立て方は海外勢特有のスタイルがあり、より様々なスタイルのプレイキンを体感する事ができた。

今大会が終わり、来年(注1)開催の「全日本選手権」や「WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州」(注2)などに向けて、ポイントランキングの動きも大きくなっている。さらに今後国内で開催される大会では多くの海外選手が参加するため、規模もより大きくなってきている。2年後のパリオリンピック、更にはその先のプレイキンシーンの未来にはどのようなドラマが待っているのか、引き続き注目していきたい。(協力:ブレイクダンス本部 PRパートナー FINEPLAY)

今後の大会日程は以下の通り

2023年2月18日(土)、19日(日)  
**第4回全日本プレイキン選手権**  
東京都渋谷区 代々木第二体育館(注1)

2023年2月24日(金)、25日(土)  
**WDSF Breaking for Gold World Series in 北九州**  
福岡県北九州市小倉 西日本総合展示場(注2)

# 公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO) 公認スポーツ指導者表彰

永年にわたりスポーツ指導者としてスポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰しています。15年以上にわたり尽力し、顕著な功績が認められた「永年表彰」にJDSFから3名が受賞しました。コロナ禍等の都合により授賞式には鴻巣久枝さんが出席されました。

## JSPO指導者表彰に寄せて



ダンススポーツコーチⅢ 鴻巣久枝



左端ヨコ・ゼッターランドJSPO常務理事、左から5人目筆者

去る11月23日、JSPO全国研修会の会場にて指導者表彰式に出席。ヨコ・ゼッターランドJSPO常務理事より直々に楯を賜り、指導者として、人様に「長い間ご苦労さまでした」と言っていただけの年月を過ごしてきたと、実感しました。私が指導者資格を取得したのは2006年。当時の共通科目は5日間会場に通って講義を受け、仕上げに4時間かけて筆記試験を受けるというものでした。JSPOでは2019年に制度改定を行い、その際に共通科目を担当するコーチデベロッパー（コーチ育成者）を養成することになり、中央競技団体、都道府県体協、日本スポーツ学会、日本コーチング学会の推薦により集まった第1期生として特訓に加わり、翌年から共通科目に携わるようになりました。改定の大きな目的はJSPOの理念を体現できる指導者を養成すること。それまでの一方通行の講義ではなく、双方向あるいは受講者同士で行うワークショップが中心となりました。

JDSFでは毎年JSPOコーチ資格を目指す方を募集していますが、なかなか手が上がらないのが現状です。ダンススポーツの国体参加への道は現実のものになりましたが、この時に必要なのがJSPOの指導者資格です。JSPOでは国体監督が有資格者であることは必須になりつつあります。ならば簡単で取りやすいコーチⅠで良いという声もあるようですが、それはもったいない。ぜひコーチⅢを目指していただきたいのです。コーチⅢの専門科目はJDSFが担当しますが、価値のあるのがJSPO主催の共通科目です。この共通科目ではあらゆる競技種目の指導者が一堂に会します。自分を見つめる機会でもあり、他の競技種目の指導者の生の声を聴き、そこから交流も生まれます。スポーツ指導者としての感覚が変わることでしょう。

これまで長い間ダンスの指導に関わることができたのは、ひとえに、家族・JDSF関係者はじめ私の人生に関わったすべての方のおかげです。感謝申し上げます。



金城庸夫(ダンススポーツコーチⅢ)

JDSFの理事を務め指導部の組織化と指導員制度の構築に携わりダンススポーツ医科学研究部長として、世界ダンススポーツ連盟が出版した「ダンススポーツ教本」の翻訳及びDVDの作成に尽力。



溝口 稔(ダンススポーツコーチⅢ)

JDSFの理事を務めジュニア育成部長としてジュニアの育成及びジュニア指導員制度の組織化と運営に尽力。また、JSPO指導者養成講習会講師を務めるなど、功績は誠に顕著。

## 文部科学省生涯スポーツ功労者表彰

この表彰は、日本スポーツ協会、日本レクリエーション協会、日本パラスポーツ協会及び各都道府県教育委員会等の選考を経て推薦された生涯スポーツ功労者並びに生涯スポーツ優良団体について文部科学大臣が表彰を行うものです。10月14日、永岡桂子文部科学大臣より「生涯スポーツ功労者」として吉川英司茨城県ダンススポーツ連盟副会長が授賞されました。

### 受賞にあたり

茨城県DS連盟副会長 吉川英司

文部科学大臣賞という栄えある賞をいただき、誠に光栄に存じます。この表彰は、身に余る榮譽であります。JDSF茨城県連盟役員や地区連盟役員、県連盟会員みなさまからの温かいご支援の賜物であり関係する方々と共に受賞したものと感謝しております。今後も生涯スポーツとしてのダンス普及を目指し、人との絆や新しい出会いに期待しつつ活動していく所存です。引き続きご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



中央永岡桂子文部科学大臣、最上列の右端筆者



# ダンススポーツグランプリin北海道2022

併催 PDグランプリカップ スタンダード／北海道知事杯争奪

2022年10月2日(日)／北海道立総合体育センター（愛称:北海きたえーる）

札幌のグランプリ戦ではお馴染みの会場「北海きたえーる」の、「きた」は北海道の北を、「えーる」は声援を送る意味とともに、「きたえーる」は、心身を鍛えるという主旨もあり、この会場を通じてたくさんの仲間が交歓の場として伸び伸びと活動することを願って付けられた愛称です。コロナ禍がまだある中での開催ですが、施設管理（北海道スポーツ協会）から許可された限られた指定席（250）は全て完売となり、北海道DS連盟のご尽力により、役員・スタッフと選手一同、そして観客の皆様が一体となった素晴らしいグランプリ大会となりました。

開会式では、金子和裕実行委員長（JDSF常務理事）は、「コロナ禍の影響がまだ残る中、主催の北海道DS連盟の皆さんに感謝！」そして高橋毅北海道DS連盟会長兼チェアパーソンは、「感染対策の徹底で無事開催できたことに安堵！」と挨拶されました。



北海道知事杯



挨拶する金子和裕 JDSF常務理事



高橋毅北海道DS連盟会長（後列）、前列右から、金子和裕常務理事、司会の大木由香里氏、神宮周二広報部長談役



金子実行委員長から突然のご指名でウクライナ出身のオレクシー太田組にマイクを持ちエールを送った地元北海道出身の久保田弓椰選手

「彼らとはGD（アマチュア）時代からの仲間です。母国のウクライナが大変な状況で、複雑な心境の中でも、この大会に出場してくれて感謝しています。これからも彼らと一緒に、全国の皆さんにダンススポーツでパワーを届け、魅力を伝えて行こうと思います！」（久保田）



エールの後に、久保田組&オレクシー組がパートナーをチェンジしてクイックステップを披露しました。



藤井創太・中村安里組 (千葉県)

優勝

## グランプリラテン

4月のグランプリ京都以来のコンペでしたが、今まで一緒に戦ってきたJDSFの同じ仲間も大勢出ている大会と一緒に踊って大変楽しかったです。将来のことはパートナーともよく相談していきたいと思いますが、今は次のコンペに向けてチャンピオンを目指して頑張るだけです！



大西大晶・大西咲菜組 (富山県)

準優勝

北海道大学歯学部と札幌市立大学看護学科に学ぶ双子の大学生選手、司会は母親の大木由香里さん。そして、大木組には北海道のトップ選手に与えられる北海道知事杯（ラテン）が贈られました。



Tudor Andrei・吉川あみ組 (東京都)

第3位



今西竜矢・今西心菜組 (ブルボンDST)

第4位



高橋海・鈴木柚葉組 (ブルボンDST)

第5位



大木大樹・大木風香組 (北海道大学/札幌市立大学)

第6位

優勝



アレクシー グザー・太田史圭子組 (リズメディア)

### PDグランプリカップ スタンダード

太田史圭子さんはウクライナの国花、ひまわりの髪飾りと国旗をイメージしたドレスで登場、5種目に全て1位となり優勝に輝きました。そして、地元北海道で精力的にダンススポーツの発展に尽くす久保田弓椰・徳野夏海組がTEAM YUMIYAの皆さんの盛大な拍手と小旗を振っての応援に応え準優勝となりました。

久保田弓椰・徳野夏海組 (TEAM YUMIYA 北海道)



準優勝



第3位



山本武志・木嶋友美組 (LIBERA DANCE)

第4位



山崎圭太・石本美奈子組 (エムダンスアカデミー)

第5位



高橋一昌・高橋由紀子組 (幸手K&Yダンスクラブ)

第6位



秋谷孝宏・田原美穂組 (エムダンスアカデミー)



◀ファイナル選手一同

### JDSF A級戦 スタンダード (北海道知事杯争奪)

北海道と大阪の遠距離カップル。高橋北海道DS連盟会長のお孫さんがA級戦優勝、北海道知事杯(スタンダード)が授与されました。

優勝



太田歩生・松本京佳組 (札幌圏/大阪府)

地元北海道で優勝できて嬉しい。おじいちゃんとおばあちゃんの前でちゃんと踊れてよかったです

準優勝



足立陽貴・足立心優組 (京都府)



- 優勝 太田 歩生・松本 京佳組(札幌圏/大阪府)
- 準優勝 足立 陽貴・足立 心優組(京都府)
- 第3位 FLORES MICHEL・桜井有樹子組(東京都)
- 第4位 下岡ヘンリー・山田 佑美組(東京都)
- 第5位 及川 久隆・及川 加代組(岩手県)
- 第6位 斉藤 崇幸・玉井絵里子組(札幌圏)

### シニアI A級戦 スタンダード

準優勝



- 優勝 高杉 耕一・高杉綾子組(東京都)
- 準優勝 小林 潤一・小林麻衣組(富山県)
- 第3位 小高 修平・飯田なでしこ組(東京都)
- 第4位 森川 豊則・鈴木悠夏組(大阪府)
- 第5位 兎士・森 仁美組(三重県)
- 第6位 村瀬 賢一・小笹詩織組(埼玉県)



小林潤一・小林麻衣組(富山県)

優勝



高杉耕一・高杉綾子組(東京都)



優勝



### JDSF B級戦 スタンダード

押切雅易弥・押切萌琉組 (北海道DSC)



優勝

押切雅易弥・押切萌琉組 (北海道DSC)



優勝



### JDSF C級戦 スタンダード

松本春秋・阿波貴美組 (札幌圏)



優勝

小原暹史・小原菜々華組 (北海道DSC)



優勝

小原暹史・小原菜々華組 (北海道DSC)

### JDSF D級戦 スタンダード



優勝

小原暹史・小原菜々華組 (北海道DSC)

### JDSF D級戦 ラテン



石坂泰雄・多胡イチ子組 (北海道DSC)



優勝

### プレジュニア スタンダード



優勝

近江谷莉奈・野邊真李甫組 (北海道DSC)

### プレジュニア ラテン



優勝

西島奈那・横沢優羽組 (北海道DSC)

### JDSF ノービス戦 スタンダード



優勝

阪上道正・野田綾子組 (札幌圏)





つなげています  
スポーツへの想い

スポーツくじの収益は、  
日本のスポーツを育てるために  
使われています。

スポーツくじ **1000 BIG**

www.toto-dream.com www.toto-growing.com ①9歳未満の方の購入又は譲り受けは法律で禁じられています。私財金も受け取れません。運営・販売：独立行政法人日本スポーツ振興センター

**ダンス・ダンス・ダンス**  
第106号(Winter)  
令和5年1月発行

- 発行人 / 山田 淳 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟専務理事)
- 編集人 / 神宮周二 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部相談役)
- 編集長 / 佐藤肇之 (公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部長)
- 企画 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟広報部
- 発行所 / 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟

〒135-0063 東京都江東区有明3-4-2 有明センタービル1階 TEL.03-6457-1850 FAX.03-6457-1857  
http://www.jdsf.or.jp

©本誌の記事・写真の無断転載を禁じます。